



標小だより

令和3年 2月26日発行 責任者 校長 野口育子
URL <http://town.shibecha.ed.jp/shibecha-e/htdocs>

標小がめざす子ども像

- 自ら学ぶ子（知）
- 人のために行動できる子（徳）
- 自他を尊重する子（徳）
- 心身の健康安全に向け実践する子（体）



『東日本大震災の教訓

～主体的な判断と行動～』

校長 野口育子

東日本大震災から10年となりました。未だに避難生活の方がおられ、今までの生活に戻ることが難しい現実があります。震災は、私たち一人ひとりが、日常における安全への取り組みをはじめ、生きることの意義など、急激な社会の変化で見落としがちなものが多いことから見つめ直す機会となりました。

この震災で、被災された多くの学校で、代え難い命を救ったのは、子どもたち自身の判断と素早い避難行動であることが明らかになりました。

震災前、多くの学校の避難訓練は、放送をよく聞き、指示に基づいて安全に避難することが重点でしたので、避難の過程で自ら考え判断することは、それほど強く求められていない状況でした。

しかし、震災により、停電で避難放送もできず、また、津波も予想をはるかに上回り、通常の避難方法や場所等の問題点も浮かび上がりました。

このような中、釜石の小学校では、下校後の地震発生によって、誰からの指示もなく、自ら考え判断し、安全に避難しなければならない状況であったことが報告されています。

「一人で自宅から自主的に避難場所に避難した子」「揺れが収まっても避難しない家族を説得して避難した子」「避難場所を巡って意見が分かかれながらも安全を優先し、岸壁から高台に避難した同級生のグループ」など、日頃の訓練で学んだことを生かして、身に付けた主体的な判断と行動が、多くの命を救いました。

知識としての安全を受け身ではなく、自分の命を守り、さらに社会の一員として意識して行動した結果、多くの命が失われずに済んだのだと思います。

「助けられる人から助ける人へ」（群馬大学教授 片田敏孝氏）の転換は、一人では生きられない人間にとって、私たちの生き方そのものに関わることです。それだけに、学んだことを日々の生活に生かすことが、学校だけでなく生活の拠点である家庭や地域においても求められています。

教育の大きなねらいは、自ら学び、考え、判断し、自他のために役立つことが出来るという、実行する力を培うことです。これからも、家庭・地域の皆様と連携・協働を図りながら、子どもたちに「ともに生き抜く力」を身につけさせる防災教育の充実を図っていききたいと思います。



日 曜	3 月 行 事 予 定	バス時刻	
		1 便	2 便
1 月	5時間授業 6年生を送る会 評価業務	2:50	
2 火	全校朝会 プリマリアール説明会 ALT	2:50	4:00
3 水	水曜日課 ともしび号 プリマリアール来校日	2:50	
4 木	5時間授業 評価業務	2:50	
5 金		2:50	4:00
6 土			
7 日			
8 月	少年団体育館使用中止期間19日迄	2:50	4:00
9 火	読み聞かせ（5雪） お話会（6月） ALT	2:50	4:00
10 水	水曜日課 職員会議	2:50	
11 木	お話会（1月）	2:50	4:00
12 金	お話会（2月） 式練習 6年のみ 定時退勤日	2:50	4:00
13 土			
14 日			
15 月	標茶中卒業式	2:50	4:00
16 火	読み聞かせ（3月） ALT	2:50	4:00
17 水	5時間授業 ともしび号（返却のみ） プリマリアール来校日 PTA 会計監査	2:50	
18 木	5時間授業 卒業式前日準備	2:50	
19 金	3時間授業 第135回卒業証書授与式	11:30	
20 土	春分の日		
21 日			
22 月	5時間授業	2:50	
23 火	5時間授業	2:50	
24 水	3時間授業 修了式・離任式 大掃除	11:45	
25 木			
26 金	下校バス時刻が変更になりました。		
27 土			
28 日			
29 月			
30 火			
31 水			

2月15日の新入学説明会で、安心・安全メール登録・再登録のお話をしました。まだ、新入学児童がいるご家庭で入学前の登録をお済みでない方は3月3日（水）までに登録頂きますようお願いいたします。

今月の標小

■児童生徒表彰（9日）

今年の児童生徒表彰では合計23名の児童が受賞。佐藤町長様や野口校長先生からお祝いの言葉をいただきました。全ての表彰が終わった後、児童を代表して■■■■さん（6年生）が受賞の挨拶をしました。



■ブックバック

公務員弘済会から図鑑の寄贈がありました。



■釧路小中学生書道展表彰（22・24日）

今年の書道展は17名の皆さんが入選。校長先生から一人一人に賞状が手渡されました。おめでとうございます。



■3学期参観日・懇談会（16～18日）

今年度に入って初めての、通常の参観日及び学級懇談会を3日間に渡って実施することができました。施設の関係で「3密」を避けるために、教室の戸を開放し、廊下の窓を開けて密閉を避ける形で授業実施となりました。保護者の方々のご協力もあり、混乱なく終えることができました。ご協力に感謝申し上げます。



■6送会準備

6送会時に6年生にプレゼントする寄せ書きづくりが1～5年の縦割り班で数回に渡って行われています。個人で書いたメッセージを用紙に貼り合わせ寄せ書きが完成します。6年生への思いがこもったプレゼントとなることでしょう。



3月1日から、特別支援教育に関わる支援員として、「■■■■さん」が勤務されることになりました。主に、1年風っ子の支援の補助にあたってください。それ以外にも、様々な場面で支援いただく予定です。



～令和2年度 標茶町学力サポートプラン（CRT）結果～

令和2年度の、本校の全体的な傾向をお伝えします。（□成果が見られた内容 ■課題となる内容）

【国語】

□漢字の読み書きは定着が見られ、日常の授業で全校統一した指導を行っている成果が表れています。

□今年度の研究内容「読むこと」の「説明文の内容を読み取る」は、高い定着率です。

■「書くこと」はやや課題の見られる結果となりました。高学年では、文章全体の構成を捉えることはできていますが、それを基に“自らの考えを書く”力を高めていきたいです。

【算数】

□「思考・判断・表現」の数値が高く、少人数指導（3年以上）及び問題解決型学習の効果が表れています。

□4年以上の「変化と関係」領域の定着率が高く、系統的な指導の成果が表れています。

■低学年の基礎的・基本的な学習内容の定着が求められます。

【理科】

□「物質・エネルギー」領域の定着が見られます。時期に応じて指導計画を柔軟に運用している成果であるとのおさえます。

■「実験の技能」を高める必要があります。コロナ禍の影響を受けたことも要因であると考えます。

【社会】

□「思考・判断・表現」の数値が向上していることから、日常授業において児童が課題に対して資料等から追究する活動がなされていることが分かります。

【英語】

□「思考・判断・表現」の数値が高く、日常授業でコミュニケーション能力を高める活動に取り組んでいる成果が表れています。

□より一層「聞く能力」を高めていけるよう、ALTを活用した授業を実践していきます。

【i-check】

□「自己肯定感」の高まりが見られます。

□「生活習慣・学習習慣」の数値が高く、計画的に学習に取り組んでいることが分かります。

■高学年では「思いを伝える力」「問題解決力」に課題が見られ、積極性を引き出せるよう努めていきます。

本校では、本検査の結果と分析をもとに、その対応について全学年を対象に取り組んでいきます。特に、基礎・基本の定着の面では、朝学習や放課後学習を有効に活用するなど学校全体で取り組み、向上を図ります。また、「子どもが自らの考えを深める授業」「子どもが学び合いを実感する授業」を目指し、既習事項を活用して問題を解決していく場を設定するなど、活用する力の育成に努めていきたいと考えています。

基本的な生活習慣の確立、家庭でのルール作り、読書を含めた家庭学習の継続実施につきましては、今後ともご家庭での協力をよろしくお願いします。

【PTA 関わっての連絡】

第3回役員会（1/20）、第4回役員会（2/10）において確認された内容を報告いたします。

1. 「令和2年度 PTA 送別会」→新型コロナウイルス感染症対応のため、今年度も「実施しない」。
2. 「令和3年度4月参観日及びPTA 総会」→例年4月に日曜参観日に合わせて、PTA 総会を実施していたが、新型コロナウイルス感染症対応のため、令和3年の4月参観日は、通常の「低・中・高」学年に分けての平日参観日及び懇談会を実施し、PTA 総会は紙面報告の形をとる。